



2022年9月30日  
(幼保連) 認定こども園さふらん

# 園だより

## 10月号



10月の聖句

あなたがたは神に愛されている子どもです。

エフェソの信徒への手紙 5章1節

厳しい残暑、そして台風による風雨と目まぐるしく変わる天候から、ようやく心地良い秋風を感じる頃になりました。アスレチック裏のナツメの木に実がいっぱい！登れなかったボルダリングに再挑戦のAちゃん、登った喜びと手にしたナツメに笑顔がこぼれました。クルミやザクロ、銀杏が実をつけ、さふらの庭は実りの秋を迎えました。

「らっしょい・わっしょい！日本一」と、玄関で子ども達を迎えていると駐車場上のホールから、踊る足音と共に元気な声が聞こえてきました。バス待ちの間に覗いてみるとナーサリーや年中少の子ども達を前に12.3人の年長児が運動会で踊るダンスを舞台上で披露していました。

子ども達は今、来週の運動会に向けてそれぞれの学年張り切って取り組んでいます。さくらんぼさんはりんごさんと一緒に、お化けの絵本や話を通して、ダンスで踊るお化けに変身してノリノリで踊っています。年少さんは「ウキウキパレード」に出てくるサル・トリ・ゾウのお面を、年中さんは「まんまる島の海賊 Kids」の歌に合わせて海賊の帽子を作り、運動会気分も盛り上がってきました。「運動会は年長さんがいないとできないんだよ」とY君、プラカード・体操・始めと終わりの言葉・笛・ゴールテープ・放送・ガードの係りを受け持ち、ちょっぴりドキドキしながらもやる気満々！ナーサリーも一緒です。どうぞ皆様の温かい応援を宜しくお願いします。

毎年、秋の遠足を兼ねて近くの畑にサツマイモほりに行っていました。昨年まで13年ほどになりますが、本町田小裏の河原さんのご主人が丹精込めて育てた芋畑から、一人1.5Kg～1.8Kgも持ち帰るほどの量で、収穫の秋を満喫する貴重な体験でした。

河原さんから来年度は作付けを行わないと告げられ、歩いて行ける芋畑を探したのですが、中々見つからず思案していたところ、上川さん（給食野菜の仕入れ先の上川農園）が「今まで芋は植えたことがないが、やってみましょう」と申し出てくれました。場所が野津田で園バスの利用となり、収穫量の予測も難しく、今までのように全学年が行けるか、各家庭に持ち帰る分量があるか等も含め検討しているところです。

子ども達にとって土に触れ収穫の喜びを味わい、お家の人と調理し食べる楽しさと・・・こんなに沢山の恵みを支えて下さった河原さん長い間本当に有難うございました。



子ども達は、運動会に向けて、かけっこ・ダンス、年長さんは係の仕事も一生懸命頑張っています。そんな姿に感動する毎日、きっと神様も同じように子ども達を愛し心からの応援を送っていると思うのです。

